

第4学年 道徳学習指導案

2025年11月22日土曜日 4校時

町田市立小山小学校

指導者 1組(29名) 清友 祥太
2組(29名) 財間 理史
3組(29名) 丸山 千聖
4組(28名) 白井 優香

1 ねらい 正直な心を大切にして、明るくのびのびと生活する態度を育てる。

「正直な心」(A:正直、誠実)

2 資料名 「ふくびき」

(出典 東京書籍「あたらしいどうとく」第4学年)

3 展 開

	学習活動(主な発問と予想される児童の反応)	○指導上の留意点 ☆・・・評価
導 入	1 正直に言いたくなかった経験を思い出す。 「正直に言いたくないことはありますか。」 ・友達に借りた本を少し汚してしまったとき、すぐに謝れなかった。	○「正直に言いたくないって思ったことがある？」と投げかけ、「正直な心」について問題意識を持てるようにする。 ○事前アンケートの結果を提示し、経験を想起するための手がかりにする。
展 開	2 資料「ふくびき」を読んで話し合う。 ①「おっちゃん、ごめんなさい。」と言ってバッグを変えろと決めるまでに、「わたし」はどんなことを考えたのでしょうか。 ・当たったのに、なぜかよい気持ちではない。 ・このまま黙っていて、いいのかな。 ②さいこうのプレゼントをありがとう。」というお母ちゃんの言葉を聞いて、「わたし」はどんなことを思ったのでしょうか。 ・正直におっちゃんに言って、よかったな。 ・お母さんに本当のことを正直に話してよかった。 ・正直にできて、何だか気持ちがよい。	○すぐには正直な気持ちになれず、迷いや葛藤があったことを共感的に捉えさせ、正直な心で行動することの大切さを考えさせる。 ○「正直な心」の持つよさや快適さについて、多面的・多角的に考えさせる。 ☆正直な生き方は自分自身の気持ちを明るくすることについて考えている学習状況を把握する。
終 末	3 今までの自分を振り返る。 「自分をごまかさないで、正直になれたことはありますか。そのとき、どんな気持ちでしたか。」 4 正直に関する故事成語や名言を知る。	○ワークシートを活用し、じっくりと自分と向き合う時間を取る。 ☆「正直な心」の大切さを考えながら、自分を見つめている学習状況を把握する。 ○故事成語や名言を紹介して、正直に生きようとする意欲を高める。

※本時は学年の児童の実態に基づき設定されました。

授業内容やねらいとされることについて、ぜひご家庭でも話をする機会を設けていただければと思います。よろしくお願いします。